

事業&活動報告

初の試み満載! 千葉市民活動フェスタ2020“ワクワクつながるオンライン” 閉幕

■ 初のオンライン開催

毎年11月に開催してきた「千葉市民活動フェスタ」、今年はコロナという思わぬ障害に直面。状況も予測不能な中、安全に配慮しながらどのように実施すればよいか、実行委員会も頭を悩ませながら、初めて尽くしの「これまでにないフェスタ」が展開されました。



■ 多様な企画で長期間の展開

従来のような展示や体験、相談、物販、ステージ等は一切おこなわず、特設ウェブサイトでの団体紹介を中心として展開。多くの人に見てもらえるよう期間を長く、11月8日から12月6日まで拡大し、以下のような内容で実施しました。

【市民公益活動団体の紹介】 11月8日～12月6日

「千葉市民活動フェスタ2020」の特設ウェブサイトから参加各団体の情報を様々に発信。動画での発信をサポートするため、10月18日には千葉市民活動支援センター会議室にて、団体が行う「紹介」を専任スタッフが撮影する「団体紹介動画撮影会」を開催。専門業者による現地取材による動画作成も3団体実施しました。

【資料の配架】 11月14日～15日

きぼーるアトリウムにパンフレットなど各団体の資料を配置。同日ちばさぽにも配架。11月16日以降はセンターに特設パネルを設置し配架を継続中。

【公開収録ステージ】 11月8日

千葉県教育会館の大ホールにて、出演者や観客が密にならないように留意して15団体がステージ発表。収録した動画の特設ウェブサイトアップ。



【インターネット放送局】 11月15日

きぼーるアトリウムに1日限りのインターネット放送局を開設。ステージ動画の抜粋や団体紹介、団体の活動現場から中継、市民活動トーク等をプログラムにライブ配信。

■ サイトへの訪問1800件!

フェスタの特設サイトへの来訪の数は「Googleアナリティクス」というアクセス解析サービスを利用して調べました。その結果、来訪は約1800件。何回も見た人、ホームページだけを見た人と各団体のみを見た人、しっかり最後まで見た人の割合など、詳細の分析までは出来ていません。またこの数字を多いと感じるか少ないと感じるかも、人それぞれかと思いますが、まずは初の「オンライン・フェスタ」として概ね成功であったのでは、と、最終の実行委員会でも感想が述べられました。参加団体へのアンケートなどの結果は今後追ってご紹介していきます。



ミニコラム

ちばさぽの風 vol.41

“ファン度”を上げて市民活動を盛り上げたい

寄付は市民活動団体(NPO)の主要な資金源の一つですが、「どうすれば寄付が集まるの?」といった質問に対して、自分は今まで、「カンパ箱を置いてみては」とか、「情報発信をしないと集まらない」といった抽象的な回答しかできていませんでした。そんな中、12月11日に開催した「市民活動ステップアップ講座」において、講師の浅井先生より、寄付集めのポイントやNPOの資金調達の基本・本質について、さまざまな角度から学ばせていただいたので、その内容を少しご紹介しつつ、業務にあたっての“新年の誓い”をここで述べたいと思います。

○「ファンドレイジング=資金調達」?

NPOが活動資金を集めるための行為の総称を「ファンドレイジング」と言います。自分は今まで何の気なしにこの言葉を使っていたのですが、「おカネのことだけではない」と教えられました。NPOの運営には、おカネ以外の物品寄付や、ボランティア等の人材も欠かせません。そうしたさまざまな人たちの参加を得るには、「ファン度」を上げていくことが重要であり、“ファン”とはFUN(楽しさ)やFAN(応援)のこと。これがファンドレイジングの本質」といったお話に、まさに目から鱗が落ちる思いでした。

○選んでもらう・選ばれ続けるために

「寄付白書」によると、寄付の動機として、3分の2を超える人が「団体への共感」や「団体や人との関係性」と答えています。また寄付先を選んだ理由としては、約3分の1の人が「寄付の方法がすぐにわかること」と回答しています。浅井先生は、「寄付をいただいたときはもちろん、使ったとき、使った事業が終了したときなど、機会を見て何度でも感謝と報告をするように」と話されていました。ありふれた言葉ですが、やはり“つながり”を大切にすることが、寄付先として選ばれる、また継続して寄付をしていただくための秘訣と言えそうです。

○新年の誓い

団体の“ファン度”を上げるには地道な取り組みが必要で、なかなかそういった時間がとれないという団体も多いでしょう。そこでセンターとして、市民活動全体のFANを増やし、FUNを伝えることを意識し、日常業務や、事業の企画・運営にあたりたいと思います。翻って、センター長の“ファン”を増やすことも、間接的に団体の“ファン度”のアップにつながると思うのですが、いかがでしょうか? もちろん異論は受け付けます(^_^; (は)